

2012年10月30日

# －革新プロジェクトの成功事例を紐解く－

プロジェクトマネジメント学会九州支部2012シンポジウムへのご案内

主催： プロジェクトマネジメント学会 九州支部

共催： 北九州イノベーションギャラリー(通称:KIGS)

後援 (社)日本技術士会 九州本部 北九州会

製造系WG  
TOC-WG

## 1. はじめに

リーマンショック・東日本大震災・欧州経済の停滞・国内外の競争相手の脅威等、めまぐるしく変わる社会の変化に追従して企業の生産活動も革新のニーズが日増しに高まっています。このため、新商品開発や今までの仕事のやり方の根本的変革など、様々な現状を変える試みが行われています。しかし、その方法は試行錯誤で行われ、思い通りに進まないケースが多いと思われます。

プロジェクトマネジメント学会九州支部では、発足以来このテーマに関心を寄せて来ました。

今回、北九州イノベーションギャラリー(通称KIGS)と共催で「革新を効果的に進め、確かな成果を上げた事例」を取上げ、現場で日々取り組まれている方との意見交換の場を設けることにしました。

気楽にご参加いただけるよう、分かり易く解説しますので、ご興味のある方はどなたさまもお気軽にご参加下さい。

## 2. 開催日時

◆日時：2012年11月30日 講演：午後1時～午後5時40分 交流会：午後5時40分～19時

◆場所：北九州市八幡区 北九州イノベーションギャラリー(通称:KIGS)

<http://www.kigs.jp/kigs/index.php>

◆参加費：無料

◆交流会費：¥1,000 定員：先着100名(事前予約)

◆申込み先：mail：[sb\\_kyotsu@nttdata-kyushu.co.jp](mailto:sb_kyotsu@nttdata-kyushu.co.jp)

Fax：092-475-5190

宛先：〒812-0011

福岡市博多区博多駅前1-17-21

NTTデータ博多駅前ビル6F

内 または 大田黒 宛

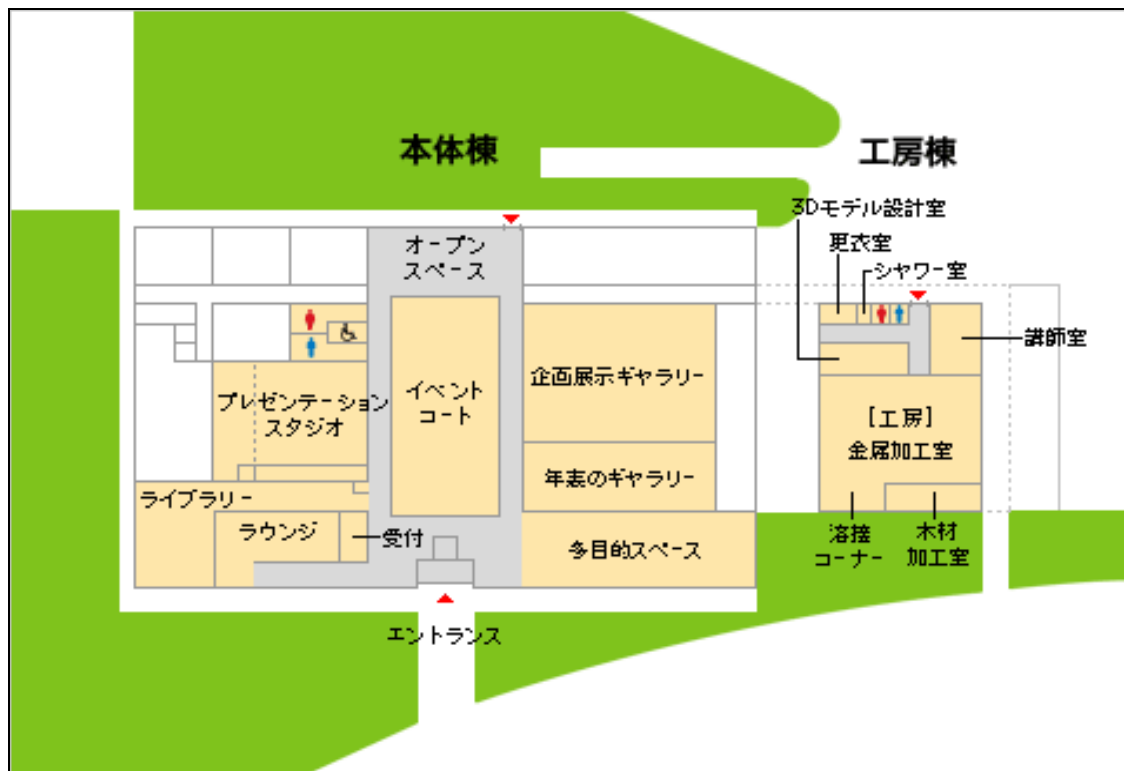
## 3. 資格ポイント付与の配慮：

PMP 資格\* PDU を本部に申請する。

## 所在地ご案内



## 館内案内図



### 北九州イノベーションギャラリー（産業技術保存継承センター）

北九州市八幡東区東田2-2-11 「東田博物館ゾーン」JRスペースワールド駅より徒歩約5分

TEL(093)663-5411 FAX(093)663-5422 e-mail tabata@kigs.jp

#### 4. シンポジウム概要

##### 4. 1 開会挨拶 13:00

プロジェクトマネジメント学会九州支部長 荒木 啓二郎

##### 4. 2 基調講演 13:05~

###### ◆ プロジェクトはなぜ問題化するのか? ~プロジェクトオーナーの役割と国際標準化動向

プロジェクトマネジメント学会 会長 栗島 聡

プロジェクトの現場ではいろいろな課題が発生します。問題化したプロジェクトの事例をもとにプロジェクトの成功には、営業段階の対応やプロジェクトオーナーの役割等、プロジェクトの周囲からのサポートも重要であることを考えます。また、学会としての活動の一環である国際標準化動向についても紹介します。

##### 4. 3 事例紹介&レクチャー

###### ◆ 商品開発で画期的成果を出した事例 14:00~ (株)アイデア 前古 護 氏

大企業を中心に広がってきた TRIZ 手法の導入は、その成果がオープンにならないまま進んできたことにより実態がつかみきれなかった。だがここ数年、中堅中小企業の導入によりその成果が革新的な新製品として紹介されることにより少しずつ明らかになってきた。TRIZ シンポジウムでの成功事例発表やメディアでの露出等がそれにあたり、実際の導入状況など実務コンサル会社として事例をもとにわかりやすく解説します。

###### ◆ TRIZ で問題をモデル化する過程と、アイデアを練り上げる過程を身近な事例で紹介します。

14:35~ (株)ソニー 永瀬 徳美 氏

身近なライターで「幼児の火遊びを防ぎ、老人でも使い勝手の良い製品」の開発を題材として取上げ、特許調査の情報も使いながら、TRIZ 手法を用いて問題をモデル化するときのいくつかの考え方の紹介と、アイデアが多数得られた後からどうアイデアを練り上げて行くかについて、分かり易く解説します。

———— 休憩 10分 ————

###### ◆ 製造/エンジニアリングにおける TOC を用いた革新事例 15:30~ (株)旭製作所 中西 聡和 氏

2010年より TOC の考え方に基づく「集中の仕組み」を、製造部 (S-DBR) とエンジニアリング部 (CCPM) において構築。部門指標を素早く改善し、経営指標の向上に結びつけた取組みを行い、この革新によって従来にない生産スピードと費用の削減に成功した革新事例を取り上げます。

###### ◆ TOC の基本前提と組織革新への適用 16:05~ (株)ジュントス 白土 竜馬 氏

「問題を win-win で解決する」ことが重要なのは多くの人知っている。しかし重要なのは、それを如何に実践するかである。このセッションでは、TOC の基本的な考え方を紹介し、革新的アイデアを実行する上で関係者の賛同をどう取り付ければよいかについて、TOC の手法を使った事例をもとに解説します。

##### 4. 4 パネルディスカッション 16:50 \*上記講師陣 + 九州支部幹事(吉田 氏)

聴衆者に代わり司会者からパネラーに多角的な質問をし、討議していただく。また、各講演者から苦労話なども披露していただく予定です。

##### 4. 5 閉会挨拶 17:30

プロジェクトマネジメント学会九州支部長 荒木 啓二郎

##### 4. 6 交流会 17:40 ~ 19:00

北九州イノベーションギャラリー内でおこないます。

## 5. 講演者紹介

### ◆ 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ 代表取締役常務執行役員

ソリューション&テクノロジーカンパニー長 栗島 聡 (くりしま さとし) 氏

1980年 3月 東京大学大学院工学系研究科専攻 修士課程終了後、日本電信電話公社に入社

1998年 7月 当時のNTTからデータ通信部門が分社し、株式会社エヌ・ティ・ティ・データに移り、金融システムの大型プロジェクトの部長等を歴任、その後2005年 6月 執行役員金融システム事業本部長となり金融部門を統括する。

2009年 6月 取締役執行役員グループ経営企画本部長に就任し株式会社エヌ・ティ・ティ・データ全体の経営方針に携わる。

2011年 6月 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ 取締役常務執行役員 ソリューション&テクノロジーカンパニー長に就任し、クラウド、ネットワーク、グローバルソフトウェア開発などエヌ・ティ・ティ・データを支える最先端の技術開発部門を統括している。

2012年 6月 現職。

社外では2011年 3月 プロジェクトマネジメント学会 会長に就任するとともに、2012年5月 日本OSS推進フォーラム 代表幹事となり活動している。

### ◆ 株アイデア 代表取締役社長 前古 護 (ぜんこ まもる) 氏

日本電装株式会社 (現:株式会社デンソー) 入社後、IC事業部に所属。パーティクル低減や新製品立ち上げなどにおいて活躍。

1990年デンソー退社後は、コンサルティング会社を経て2003年株式会社アイデアを設立。

TRIZ手法推進啓蒙のためのブレークスルー講演・セミナーなどを1000社以上に実施

2005年より大阪産業大学非常勤講師として工学部の学生に創造設計TRIZを活用した思考プロセスの講義を実施

2008年よりNPO法人TRIZ協会の委嘱により執行委員を務めたのち、現在は理事職および広報委員長を務める。

「良い品質の製品を早く安く開発するためにTRIZで日本の製造業を支援する」を信念に、日々企業を走り回っている。

### ◆ 株ソニー 永瀬 徳美 (ながせ なるみ) 氏

1996年、日本にTRIZが紹介されてから自らの研究開発に応用開始。2001年からは、Panasonicグループ会社(旧九州松下電器)の社内TRIZエキスパートとして、社内TRIZ講師の養成やテーマ実践研修講師を担当し、多数のプロジェクトに対してTRIZ手法を活用して問題解決および特許発明創出を実践推進するとともにPanasonic本社研究所およびグループ会社におけるTRIZ推進も支援。2005年より開発プロセス革新グループを統括シタグチメソッドなど他の手法とTRIZ手法の融合によるプロセス革新および組織変革を推進

2008年からはソニー(株)R&D部門におけるTRIZシニアエキスパートとして、研究開発テーマの問題解決および特許発明創出、中期検討推進支援に従事。あらゆる業務(人事を含む)の変革活動や問題解決に、組織成熟度に応じて実践できるTRIZ活用プロセスをチューニングして提案し、協働推進で成果を出すことに日々奮闘中。

これまで、知財強化活動:社長賞(九州松下電器)2件 全社活動優秀賞(ソニー株)2件 受賞

社外活動:TRIZ協会知財WGメンバー 等価変換理論東京地区メンバー Altshuller Institute 認定TRIZ Practitioner (レベル3)

### ◆ 株旭製作所 経営企画推進室 室長 中西 聡和 (なかにし としかず) 氏

広告代理店・Web制作会社を経て、株式会社旭製作所に入社。

入社後、販売促進、社内業務改善のプロジェクトに従事。2010年より社内へのTOC導入に際し、S-DBR初期導入プロジェクトメンバーとして尽力。

その後、プロジェクトから外れるも、TOC思考プロセス(MT)のワークショップなどを通じて学び、社内サポーターとしてTOCの説明活動や実際の活動に関するアドバイスなどを行う。

### ◆ 株ジュントス 白土 竜馬 (しらつち りょうま) 氏

株式会社ジュントスに入社後、自社の橋梁設計部門へのTOC導入を契機に、関連会社(土木施工)におけるTOC導入プロジェクトをリードし、業務改善を実現。その後、上場企業から中小企業に至るまで企業規模を問わず、製造業や建設業・サービス業の企業に対してTOCを用いた業務改善(生産管理/サプライチェーン/プロジェクト管理)の教育・コンサルティング業務に従事。

2006年より国立大学法人九州大学ものづくり工学教育研究センターの非常勤講師を勤める。

2008年にTOCの創始者ゴールドラット博士が設立した国際教育機関「ゴールドラットスクール」のメンバーに選ばれ、全国各地でTOCの普及啓蒙、コンサルタントの育成を行う。

プロジェクトマネジメント学会九州支部 幹事

Goldratt Schools Faculty Member, 中小企業診断士

◆ プロジェクトマネジメント学会 九州支部幹事 吉田 剛（よしだ つよし）氏

1977年、集塵装置等の設計を10年経験。その後、システムエンジニアリング事業立ち上げ、工場の物流・生産管理システム構築のSE経験の中で生産システム開発プロジェクトの失敗を体験。なぜ失敗したか探求したいとPM学会九州支部設立時から参加。その後、数件の類似プロ体験を得て、2006年、製造系WGの事務局を担当し「組織変革を伴うIT導入初期の進め方」を取りまとめ後、TRIZを中心に創造性を発揮した問題解決を実践的に進める方法についての研究会を継続中。

2008年 技術士（経営工学）取得、九州大学社会人講座「理想の生産システム」講師